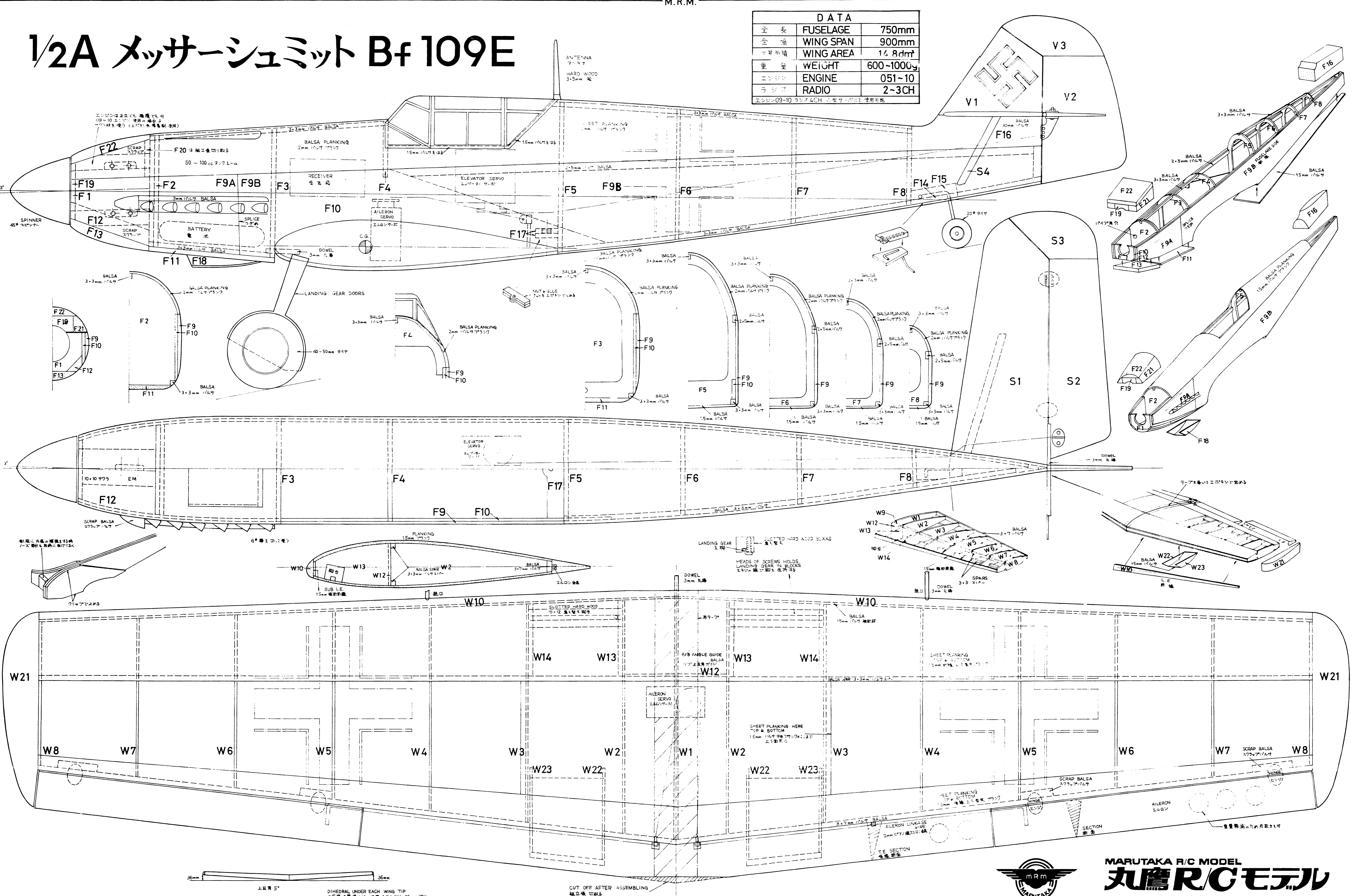


# 1/2A メッサーシュミット Bf 109E

DATA		
全長	FUSELAGE	750mm
全幅	WING SPAN	900mm
翼面積	WING AREA	14.8dm <sup>2</sup>
重量	WEIGHT	600~1000g
エンジン	ENGINE	051-10
ラジオ	RADIO	2~3CH

エンジン09-10 ラジオ4CH 1/2Aメッサーシュミット 使用可能



36mm 上反角 5°  
 DIHEDRAL UNDER EACH WING TIP  
 上反角は翼端リブの位置で尾根から36mmずつ

CUT OFF AFTER ASSEMBLING  
 組立後切断



MARUTAKA R/C MODEL  
**丸鷹 R/C モデル**

# 組立説明書

バルサ及びベニヤの抜型材を図面の番号と照合したのち組み立ててください。

## 製作まえに

よりよい仕上がりと一番の機能を発揮させるために、説明や図をよく読み、よく見て、順序よくていねいに正しく組み立ててください。  
各部品は傷つけないようにカッターや小刀で切りはなし、組み合せ部分の切り込みやミソなどは正確に切り取って無理なく組み合うように整形します。接合部には接着剤をつけ、釘・虫ピン・クリップ(洗たくバサミ)・糸・ゴムバンド・細い針金で仮留めし、接着剤が完全に硬化したら、これらはすべて取り除きます。木部の加工や整形はカンナや小刀・ヤスリなどを使いますが、木片にサンドペーパーを巻くとヤスリと同じに使うことができます。

## START ASSEMBLING AFTER REFERING THE DIE CUT Balsa AND PLYWOOD PARTS TO THE NUMBER ON THE PLANS.

### BEFORE STARTING BUILDING

For better finish and flight performance, take time in reading building instruction and referring to the plans, and assemble in good order and correctly and carefully.

Cut off each part with cutter or razor blade avoiding damage, particularly on the jointing cut out and slot.

If necessary trim the parts for easier fitting. When cementing use thread, rubber band, pins, clothes clips etc.

Until cement sets for forming and working, cutter, balsa plane and/or file are to be used. Wood tip wrapped with sand paper can also be used as a file.

## ◆仕上げ(塗装)

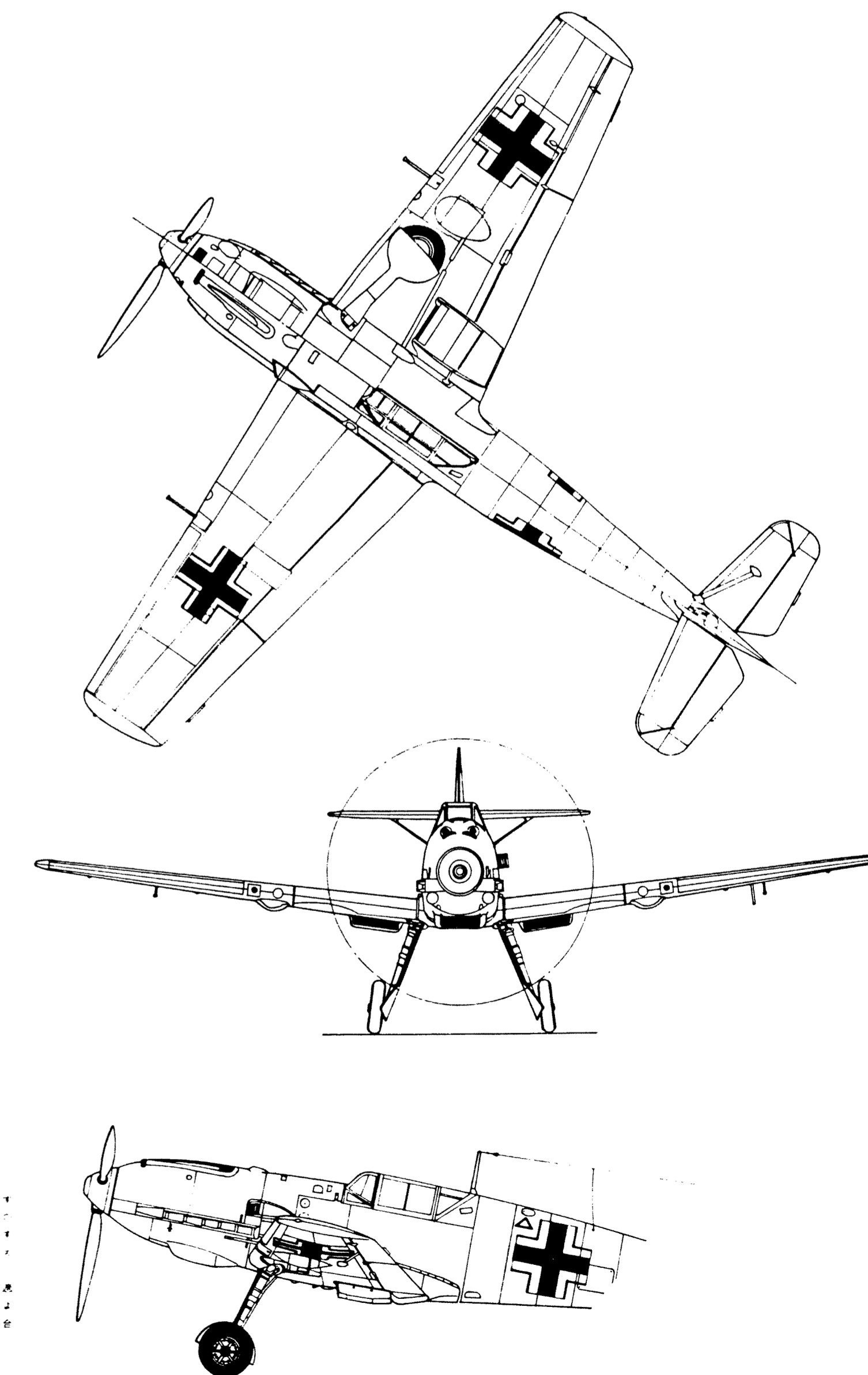
このクラスの機体では塗装の良否が飛行に大きく左右しますので、出来るだけ早く、あっさり塗るようにして下さい。又、塗り過ぎによるテールペーパーにも充分注意して下さい。仕上げには色々な方法がありますが、一般的なラッカー仕上げを述べてみます。まず出束上がった生地に、クリヤラッカーを約3倍に薄めて、表面のザラを落しながら、やや光る程度に塗り増してゆきます。そしてシンナーで紙を貼りますが翼の空間部分だけは網を貼って下さい。完全に乾いてから今度は5-6倍に薄めたクリヤラッカーを塗り増してゆきながら互換に150番くらいのペーパーで表面のザラを落して下さい。表面がやや光ってきたら下地を薄く塗ります。乾燥後300番前後の耐水ペーパーで表面を出し、グレーが白で1-2回下塗りします。それから自分の好みの色を塗りますが、ブラウラー等を使うと色の種類も豊富で耐久力も高く、機体に合った塗装が出来るとは思いますが、そして最後に耐グロウを塗れば出来上りです。出来るだけ早く仕上げのため各工程の塗りは少なめにしよう心がけて下さい。又、カウリングのある機体は、あらかじめ400番前後のペーパーで表面を出してよく塗装後乾燥しにくくなります。最初カドテープ又はビニローゼ等で仕上げると、耐グロウの必要もありませんので早く仕上がります。一番軽く仕上がるのはフィルムやモノコート仕上げですが、曲面が多い機体は少し難しいかもしれませんが、根気よくていねいに塗装してあげば、外観も塗装に比べて大層はなくなります。

## ◆胴体の組立て

- ① F-9AとBに補強材F-10を接着し、2×5%、3×3%バルサ材を所定の位置に接着する。
- ② ①で出来た物を後ろから2×5%バルサをはさみ、F-8-F-1の順に組立てる。
- ③ F-2, 3, 4とF-5, 6, 7, 8の上部に3×3%バルサを接着する。
- ④ 後部の下部1.5%バルサを接着する。
- ⑤ F-15, 14でテールギヤードピアン線をはさみ、1.5%バルサに穴を明け接着する。
- ⑥ F-17に3φナットをエゴキシン系接着剤で接着し、所定の位置に、F-10を切り込み接着する。
- ⑦ F-12をノコギリで切り込みを入れ、F-10に接着する
- ⑧ F-13を接着する
- ⑨ 胴体上部を1.5%バルサでブラックする。
- ⑩ コクピット部分を図面通り切り取り、1.5%バルサでブラックする。
- ⑪ F-16を接着する。
- ⑫ F-19-22でエンジン部ハッチを作る。
- ⑬ 全体をカッター、ペーパー(180番)で整形する。(F-16の上部は少し広めに残しておく)
- ⑭ V-1-3を接着し、整形する。(S-1をはさんで置いてから)
- ⑮ F-18と1.5%バルサでラジエーターを作り接着する。
- ⑯ ハッチは輪ゴム等で固定する。

## ◆翼の組立て

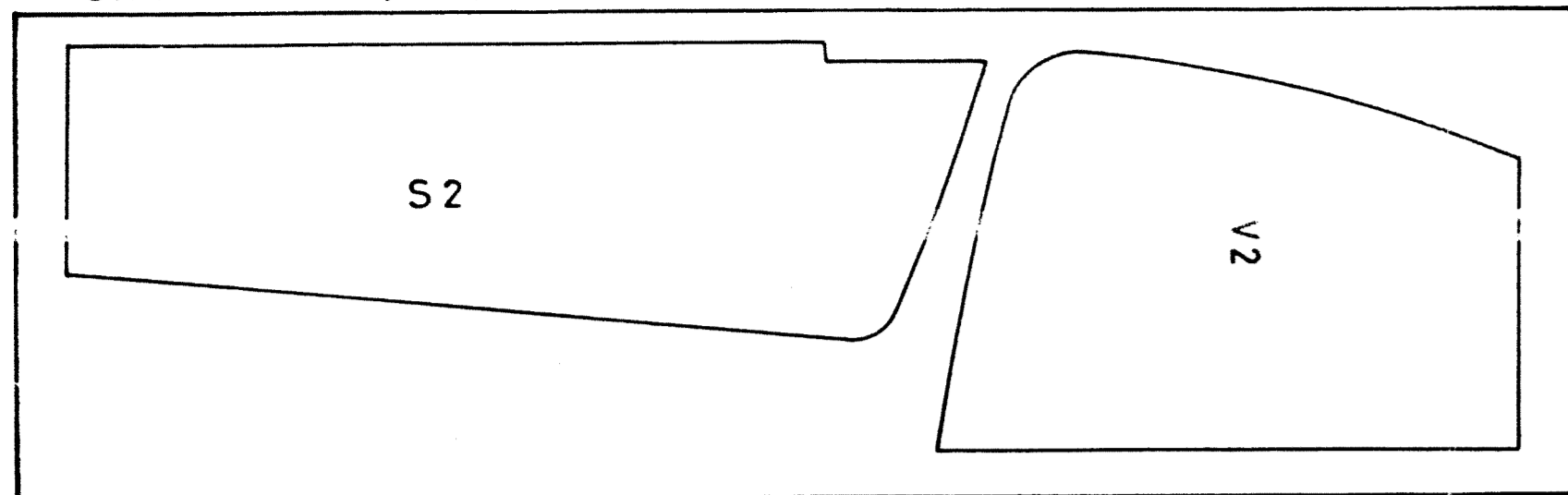
- ① W-1-8のリップをW-9スパー、W-10前縁材、W-11後縁材で組立てる。(W-12の角度に注意)
- ② W-13, 14を接着する。
- ③ 翼台を接着する。
- ④ エルロンヒンチ位置に、スクラップバルサを接着しておく。
- ⑤ 1.5%バルサでブラックする。(W-1から3の間だけブラックする)
- ⑥ 1.5%バルサで中央部をブラックする。
- ⑦ 溝付後縁材にエルロンホーンを入れ接着する。
- ⑧ W-21を接着する。
- ⑨ 全体をペーパーで仕上げ
- ⑩ 中央部をテープで巻き、エゴキシンを塗って補強する。
- ⑪ 中央部の前・後エンを胴体に合せて切り取り、テープにて接着剤をスリ込めようにして中央部を補強する。前エンの中心に3mm丸棒を接着し、機銃等取り付けて出来上る。



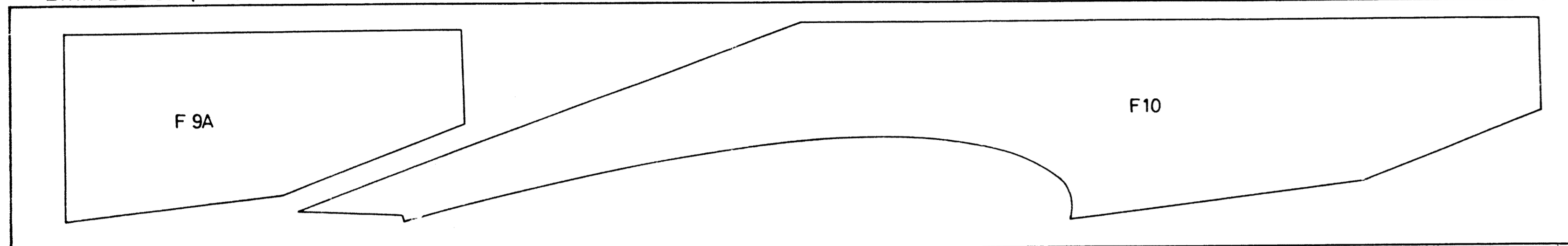
# Messerschmitt Bf 109E

## メッサーシュミット 1/2A

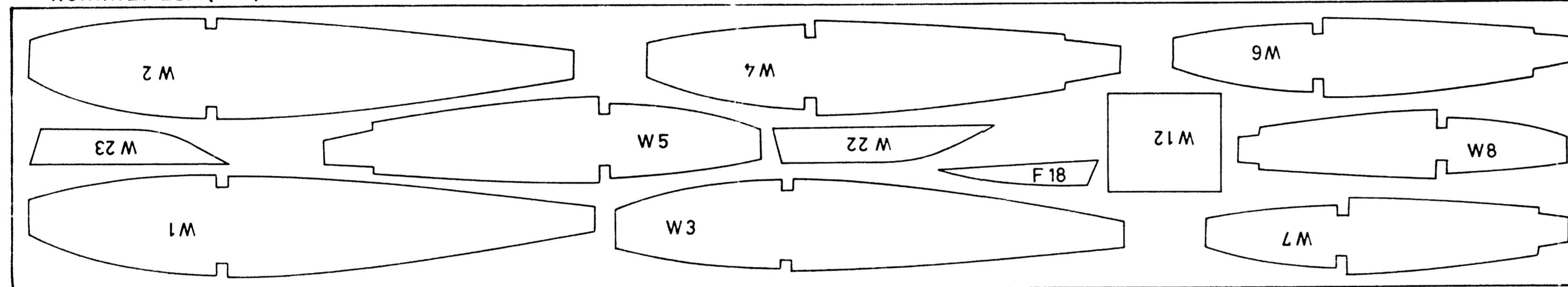
### 3mm Balsa (x1)



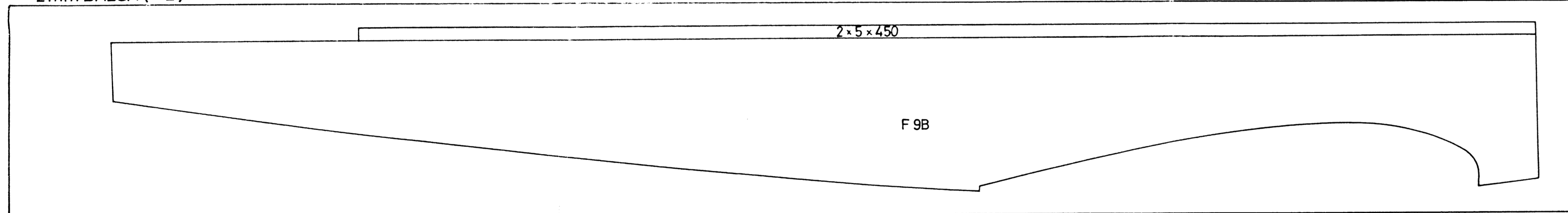
### 2mm Balsa (x2)



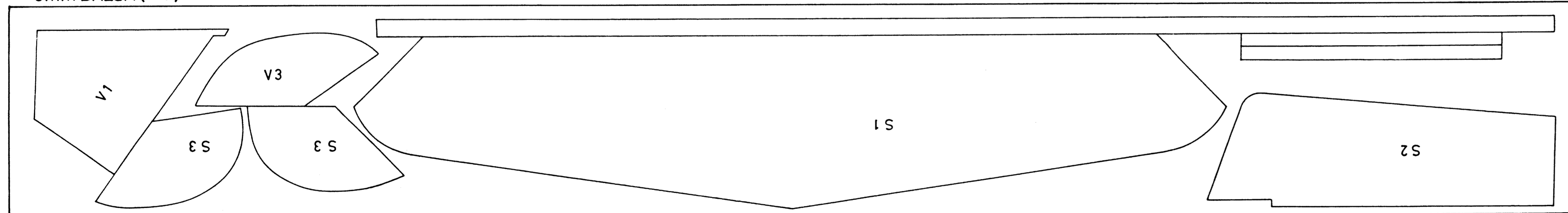
### 1.5mm Balsa (x2)



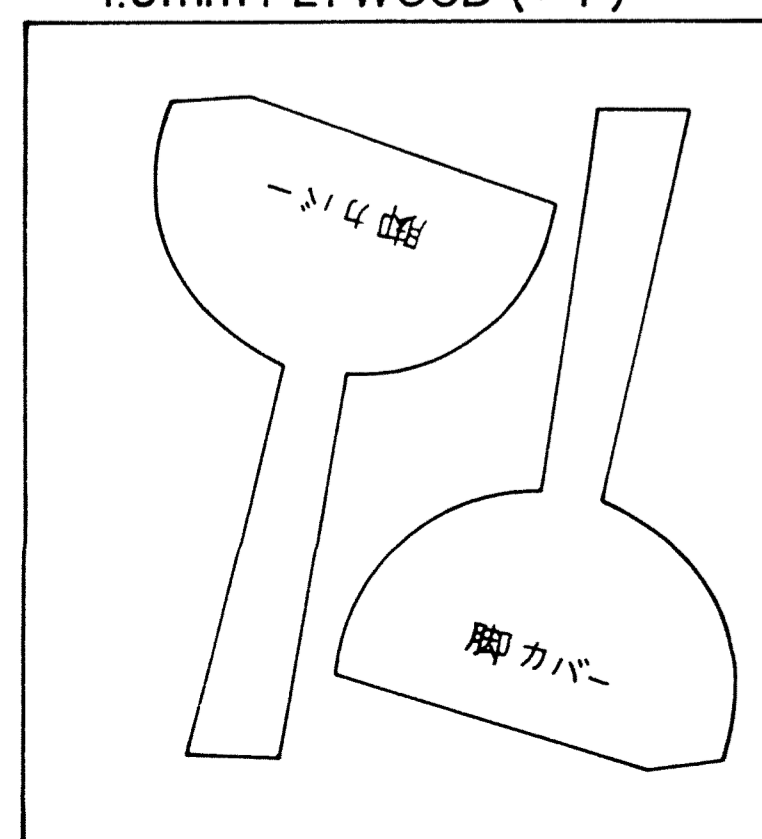
### 2mm Balsa (x2)



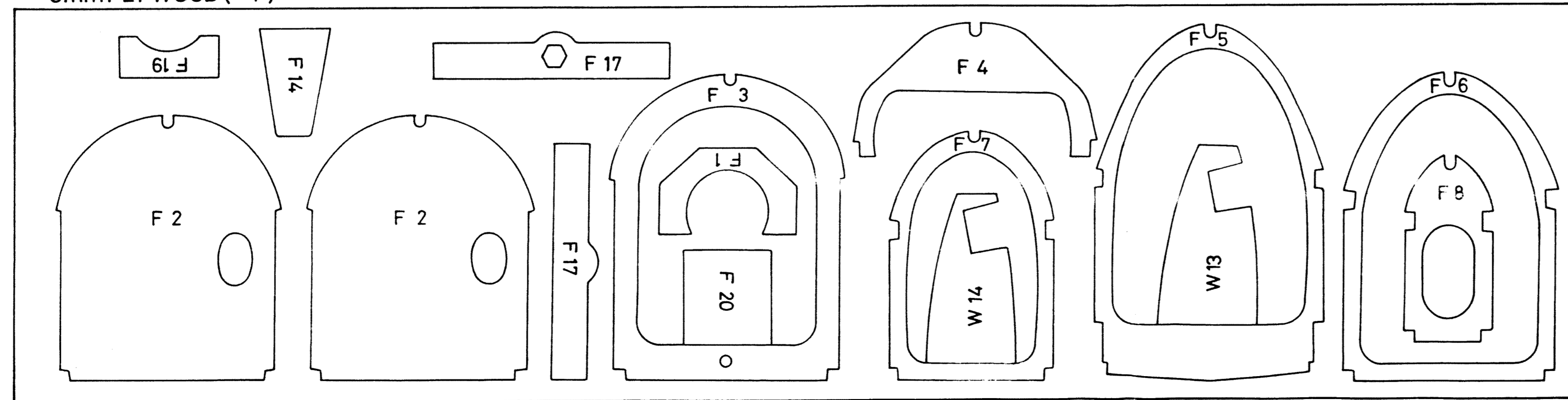
### 3mm Balsa (x1)



### 1.5mm Plywood (x1)



### 3mm Plywood (x1)



## ◆フライト前の注意事項

メカ部の組み込みは出来る限り、機体の前部へセットして重心を、図面の位置へ合わせて下さい。機体の仕上がり状況、エンジン部重量によってはテールヘビーになり、おもりの懸念がありますが、重しはあくまでメカ部で調整し、おもりは最低限度におさして下さい。  
配置量は 049-06クラスまで、それ以上の場合は09-10クラスです。又、翼は前縁が前縁より前へ出るくらいにセットして下さい。このクラスは、手投投送が主ですが、エンジン出力のある場合は機銃も搭載です。  
翼はエルロンに付10-15に調整をセットして下さい。